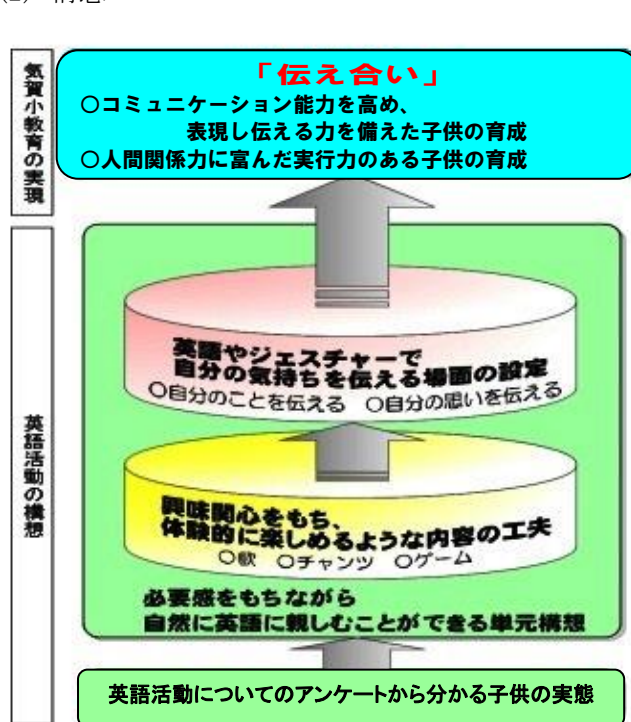


1 活動（実践）計画

(1) 目標

外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。

(2) 構想



基礎基本を大切にする教育

○5つのポイント

- ・Big Voice ・Big Action ・Smile
- ・Eye to Eye ・Warm Heart

○積極的に英語を聞いたり話したりする。

外国語活動充実のために

1. 教室英語を使う、日本語を減らす。
指導者ができるだけ教室英語を多用する。教員自身が英語を使うモデルとなる。
2. コミュニケーション活動を工夫する。
相手意識・目的意識のあるコミュニケーション活動を行う。子供に合った活動や題材を設定する。
3. 一単元で授業を設計する。
「Let's Listen」「Let's Play」「Let's Sing/Chant」での気付き、慣れ親しみから「Activity」でのコミュニケーションを図る楽しさの体験をさせる。
4. 中学校英語科とのつながりを意識する。

2 活動（実践）内容

6学年の単元「6の2 旅行社 おすすめの国は、こちら～Lesson5 Let's go to Italy.～」(時間数4)において、目的意識を持ったコミュニケーション活動を行わせるための授業設計を行った。

○第1時 教師がお勧めの国「フランス」を紹介し、第4時に児童が行うスピーチモデルを示す。

○第2時 ALTがお勧めの国「イギリス」を紹介し、第4時に児童が行うスピーチモデルを示す。「Let's Chant」「ステレオゲーム」「カード交換ゲーム」を行い、「I want to go to ～.」「I want to eat～.」等の表現の言い慣れをさせる。

○第3時 「Let's Chant」を行い、「Let's go to ～.」「I want to go to ～.」「I want to eat～.」「You can eat～.」等の表現の言い慣れをさせる。

お勧めする国の国旗や国の位置、有名なものや食べ物等を図書室で調べ、ワークシートを作成する。

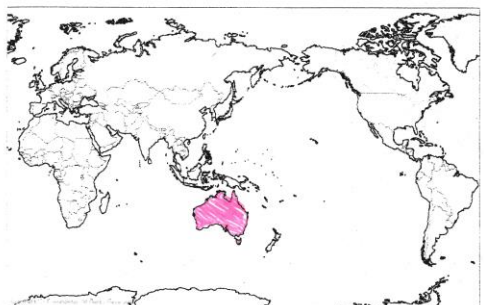
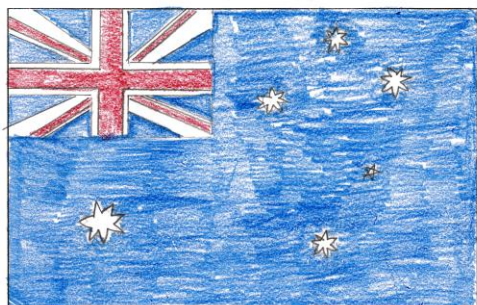
3 成果・課題

第1時に学級担任が、第2時にALTがお勧めの国の紹介をし、終末に児童が行うスピーチモデルを反復して示すことで、お勧めの国を友達に紹介するという目的意識を児童に継続的に持たせることができた。また、第2時の「カード交換ゲーム」で手にしているカードの国名を使って、「I want to go to○○.」を繰り返し言うことで、児童は、自分が本当に行きたい国やお勧めしたい国を英語を使って言いたいという思いを高めさせることができた。そして、第4時のコミュニケーション活動では、使用表現に関する活動をスモールステップで設定した効果が表れ、児童は、振り返りシートの内容にあるように、自信を持って自分のお勧めする国とその理由を友達に伝えることができた。聞きたいという思いを持って友達の紹介を聞き、行ってみたい、食べてみたいという世界の国々への興味関心を高めたことも記述内容から読み取れた。

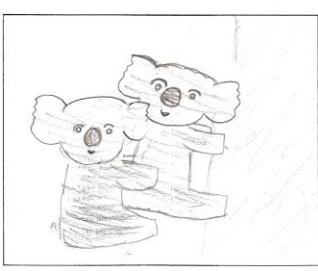
今回は、第2時にALTを活用した授業を行ったが、本単元でのALTの有効活用について、さらに検討したい。

オーストラリア
Let's go to Australia !

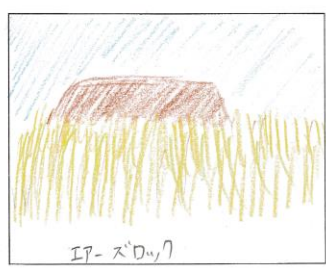
NAME()



アウトバック



コアラ



エアーズレー

Nice country. Let's go.

【児童が作成したワークシート】

④		<p>A B</p> <p>C D</p>	<p>今日の「国を紹介しよう」では自分のおすすめ の国を上手く説明でき、言苑明を聞くのも へーなるほどなと思ひながら聞けたので良か</p>
<p>この学習での自分の成長</p>			<p>特に美帆さんや結萌さんが上手に話し 聞いてくれたので、私も フランスにはエビというパンが 食べたかったです。</p>

【第4次の振り返りの内容】